

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	経済学 (前期)	
科目基礎情報						
科目番号	0096		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学科 (機械創造システムコース)		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	使用しない					
担当教員	畔津 憲司					
到達目標						
<p>1) 自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な経済のしくみを説明できる。</p> <p>2) 世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。</p> <p>3) 経済に関するメディア情報を適切に受信・活用することができる。</p>						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基礎的な経済のしくみを正しく説明できる。		基礎的な経済のしくみをおおまかに説明できる。		基礎的な経済のしくみを説明できない。	
評価項目2	持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から正しく展望できる。		持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点からおおまかに展望できる。		持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できない。	
評価項目3	経済に関するメディア情報を適切に受信・活用することができる。		経済に関するメディア情報をほぼ適切に受信・活用することができる。		経済・経営に関する基礎的用語及びそれらに関連するメディア情報を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	生活の基盤となっている経済の仕組みを学び、卒業後の社会人生活に備える。					
授業の進め方・方法	とくに基礎知識は必要としないが、本授業を機会に新聞やニュースを見るように心掛けて欲しい。					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	経済とは (1)	原始的な「経済」を説明できる。		
		2週	経済とは (2)	「経済学」の分析対象を説明できる。		
		3週	経済と市場	経済、分業、取引、市場の概念を説明できる。		
		4週	市場経済システム	市場メカニズム、市場の失敗を説明できる。		
		5週	市場価格	需要・供給の法則、市場価格について説明ができる。		
		6週	消費者行動と価格戦略	価格戦略の基本について説明ができる。		
		7週	経済規模の測定	GDPについて説明できる。		
		8週	景気の測定	景気指標の見方を説明できる。		
	2ndQ	9週	金銭の貸借取引	利率率、現在割引価値、収益率について説明ができる。		
		10週	保険の仕組み	リスク、保険メカニズムを説明できる。		
		11週	貨幣の仕組み	貨幣の機能について説明できる。		
		12週	金融政策	マネタリーベース、マネーストックについて説明ができる。		
		13週	政府の役割と租税	租税の基本を説明できる。		
		14週	所得税と消費税	所得税や消費税の仕組みを説明できる。		
		15週	異なる通貨の交換	為替レート、購買力平価について説明ができる。		
		16週	定期試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	
		現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3		
評価割合						
		試験	レポート	合計		
総合評価割合		50	50	100		
基礎的能力		50	50	100		